

授業科目	事例研究（観光事業） Case Study (Tourism Business)			担当教員	早坂 昌彦		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1・2年／前期	必修・選択	選択
授業のねらい							
<p>具体的な事例を基に観光事業について学ぶ。最初に代表的な観光産業として、旅行業、宿泊業、航空業、鉄道業、テーマパーク業の特徴を理解し、具体的な事例としてそれぞれの代表的な企業についてその事業のしくみやマネジメントについての理解を深める。続いて、地域が主体となった観光事業について、事例を基に調査・分析を行い、観光事業についての理解を深める。なお大学院では、問い（研究テーマ）は教師が与えるものではなく、自分自身で見つけるものである。よって、第1回目の講義で受講者の関心事項について確認し、その後の講義はそれを踏まえ柔軟に進めていきたい。</p>							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	さまざまな観光事業で起こっている変化について関心を持ち、積極的に問題点を探ることができる。			・ディスカッション ・課題レポート	20% 10%		
思考・判断	地域における観光事業が抱える問題点について、共通する事象を指摘することができる。			・研究発表 ・ディスカッション	30% 10%		
技能・表現	他の分野で行ってきた調査研究の手法を観光事業の調査にも応用することができる。			・ディスカッション ・課題レポート	10% 10%		
知識・理解	観光産業、観光事業と地域振興のかかわりについて理解することができる。			・課題レポート	10%		
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>ディスカッションへの参加(40%)、受講生の研究発表（プレゼンテーション）(30%)、課題レポート(30%)、から総合的に評価する。</p>							
授業の概要							
<p>この事例研究では、まず観光産業についての基本事項と代表的な企業の特徴や産業の特性、事業のしくみとマネジメントについて学ぶ。後半は、地域が主体となった観光事業のうち、注目されている自治体や地域をピックアップし、受講者が分担してその事業について調査する。その上でいくつかの視点を抽出し、これらの地域での観光事業は今日のような課題に直面しているのかについて議論する。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に定めない。必要に応じ講義時にプリント、レジュメ等を配布する。 参考書：必要に応じ授業時に指示する。</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>この事例研究は、「観光事業特講」とあわせて受講することが望ましい。また、受講生が主体的に調査をする課題が多いため、積極的な態度で臨んでほしい。インバウンド観光がますます好調な今、後半学ぶ地域が主体となった観光事業のニーズはますます高まるが課題も多い。イノベーションを引き起こせる柔軟な発想で参加してほしい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	観光事業の考え方と本事例研究で扱う内容について講義する。	予習：観光事業について 復習：観光事業内容の復習
2	旅行業の特性と現状 (1)	旅行業の事業特性について学び、IT化やオンライントラベルエージェント (OTA) の増加が、旅行業や旅行業のしくみに変化をもたらしている点を理解する。	予習：旅行業について 復習：旅行業のしくみについて
3	旅行業の特性と現状 (2)	JTB の企業の歴史について学び、地域交流ビジネスについての理解を深める。併せて株式会社 JTB 九州を例に地域主体の旅行会社の役割について考察する。	予習：JTB の歴史について 復習：JTB 九州のしくみについて
4	宿泊業の特性と現状	宿泊業の事業特性について学ぶ。具体的な事例として星野リゾートを取り上げ、企業の特徴やしぐみについて考察する。	予習：星野リゾートを調査 復習：宿泊業のしくみについて
5	航空業の特性と現状	航空業の事業特性について学ぶ。具体的な事例として全日本空輸 (全日空) を取り上げ、企業の特徴やしぐみについて考察する。	予習：全日空について調査 復習：航空業のしくみについて
6	鉄道業の特性と現状	鉄道業の事業特性について学ぶ。具体的な事例として九州旅客鉄道株式会社 (JR 九州) を取り上げ、企業の特徴やしぐみについて考察する。	予習：JR 九州について調査 復習：鉄道業のしくみについて
7	テーマパーク業の特性と現状	テーマパーク業の事業特性について学ぶ。具体的な事例としてハウステンボス (HTB) を取り上げ、企業の特徴やしぐみについて考察する。	予習：HTB について調査 復習：テーマパーク業のしくみについて
8	長野県飯山市の事例研究 (1)	スキー場主体の観光地からグリーンシーズンを含めた周年型の観光地へと発展した長野県飯山市の観光事業について学ぶ。	予習：飯山市について調査 復習：観光協会の変遷について
9	長野県飯山市の事例研究 (2)	飯山市の観光事業の中心的存在である、信州いいやま観光局について、その組織の概要と事業特性について学ぶ。	予習：いいやま観光局について調査 復習：いいやま観光局の役割と課題
10	長野県飯田市の事例研究	教育旅行で発展した、飯田市の観光事業について、現在の南信州観光公社と連携市町村、DMO の観点から学ぶ。	予習：南信州観光公社について調査 復習：南信州の観光事業
11	北海道ニセコ町の事例研究	オーストラリアからの観光客が多い、ニセコ町の観光事業について、現在の株式会社ニセコリゾート観光協会と隣接する倶知安町や広域連携の観点から学ぶ。	予習：ニセコ地区のインバウンドについて調査 復習：ニセコ地区の観光事業
12	北海道函館市の事例研究	国内観光地として古くから人気の高い、北海道函館市の観光事業について、行政の組織と観光地計画、及び旅行者とのかかわりから学ぶ。	予習：函館市の観光地計画について調査 復習：函館市の観光事業
13	山形県鶴岡市の事例研究 (1)	2015 年にユネスコ食文化創造都市に認定された鶴岡市の観光事業について、第一次産業を含む産業や文化、生活と観光事業のかかわりについて学ぶ	予習：ユネスコ食文化創造都市について調査 復習：鶴岡市の観光事業
14	山形県鶴岡市の事例研究 (2)	鶴岡市を含む庄内地域の観光事業の特性について学ぶ。特に広域連携の観点から考察する。	予習：庄内地域の観光について 復習：庄内地域の観光事業
15	まとめ	観光事業に共通するしくみや組織、組織や観光事業を動かすためのマネジメントや新たな取り組みについてこれまでの事例研究を基に考察する。	予習：観光事業のしくみ 復習：課題レポートの作成